

鳥獣被害防止総合対策事業の評価報告(平成28年度報告)

事業主体 玉城町鳥獣害防止総合対策協議会

1 被害防止計画の特徴等

イノシシ、ニホンジカの被害は、一部地域に限定されているが、農作物の食害、踏みつけ、掘り起こしなどが年々増加している。カラスを中心とした鳥類による被害は、町内全域で恒常的に発生している。

2 事業効果の発現状況

防護柵を設置することにより被害軽減に努めた。  
また、有害捕獲をして実施することにより被害軽減に努めた。

3 被害防止計画の目標達成状況

本事業を活用した結果、その地区では、被害軽減が見られたものの、全体目標は達成できなかった

4 各事業実施地区における被害防止計画の達成状況

事業実施主体名 (協議会名)	対象地域	実施年度	対象鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用開始(ハード事業)	利用率・稼働率	事業効果	被害防止計画(改善)の目標と実績						事業実施主体の評価	都道府県の評価
										被害金額			被害面積				
										目標値(H28)	実績値(H28)	達成率	目標値(H28)	実績値(H28)	達成率		
玉城町鳥獣害防止総合対策協議会	玉城町内	H27	ニホンジカ・イノシシ・アライグマ	有害捕獲	ニホンジカ4頭 イノシシ25頭 アライグマ1頭	-	-	-	有害捕獲を進めたことにより、多少は被害を軽減することができた。	(対象鳥獣ニホンジカ、イノシシ、ニホンサル、アライグマ、カラス、ムクドリ) 1,044千円	(対象鳥獣ニホンジカ、イノシシ、ニホンサル、アライグマ、カラス、ムクドリ) 3,347千円	-1885%	(対象鳥獣ニホンジカ、イノシシ、ニホンサル、アライグマ、カラス、ムクドリ) 12.8ha	(対象鳥獣ニホンジカ、イノシシ、ニホンサル、アライグマ、カラス、ムクドリ) 1.44ha	911%	被害が増加しており、緊急捕獲等対策事業を進めていることから達成率が低調になっていると推察される。今後は、本事業を活用したカラス対策を講じるなど被害防止計画の目標達成に向けた効果的な事業の活用について協議しながら進めていきたい。また、イノシシ被害も増えてきているので、本事業を活用し、今後一層の捕獲強化と侵入防止柵の整備とを合わせて講じていただきたい。	貴町の今年の被害状況をみると、被害金額の2/3はカラスによる被害であるが、被害防止計画期間に本事業を活用してカラス対策を講じてこなかったにも関わらず、カラスも含めて評価していることから達成率が低調になっていると推察される。今後は、本事業を活用したカラス対策を講じるなど被害防止計画の目標達成に向けた効果的な事業の活用について協議しながら進めていきたい。また、イノシシ被害も増えてきているので、本事業を活用し、今後一層の捕獲強化と侵入防止柵の整備とを合わせて講じていただきたい。
		H28	ニホンジカ・イノシシ・アライグマ	有害捕獲	ニホンジカ18頭 イノシシ46頭 アライグマ2頭	-	-	-	昨年よりもさらに有害捕獲を進めたことにより、多少は被害を軽減することができた。	(対象鳥獣ニホンジカ、イノシシ、ニホンサル、アライグマ、カラス、ムクドリ) 1,044千円	(対象鳥獣ニホンジカ、イノシシ、ニホンサル、アライグマ、カラス、ムクドリ) 3,347千円	-1885%	(対象鳥獣ニホンジカ、イノシシ、ニホンサル、アライグマ、カラス、ムクドリ) 12.8ha	(対象鳥獣ニホンジカ、イノシシ、ニホンサル、アライグマ、カラス、ムクドリ) 1.44ha	911%		
			ニホンジカ・イノシシ	侵入防止柵 ワイヤーメッシュ柵H=1.2m	L=476m	玉城町鳥獣害防止総合対策協議会	H28	100%	イノシシ、ニホンジカの被害が軽減した。侵入防止柵の設置を機会にして、集落一体となった獣害対策活動が促進された。	(対象鳥獣ニホンジカ、イノシシ、ニホンサル、アライグマ、カラス、ムクドリ) 1,044千円	(対象鳥獣ニホンジカ、イノシシ、ニホンサル、アライグマ、カラス、ムクドリ) 3,347千円	-1885%	(対象鳥獣ニホンジカ、イノシシ、ニホンサル、アライグマ、カラス、ムクドリ) 12.8ha	(対象鳥獣ニホンジカ、イノシシ、ニホンサル、アライグマ、カラス、ムクドリ) 1.44ha	911%		

5 第三者の意見

被害が一部地区に限られているものの被害は増加しているところもあるとのことですが、対策を実施した地区では被害の減少につながり集落一体となった対策も取られているとのことですので、このような取り組みを共有し活用するなどして啓発活動を行うことで住民主体の獣害対策の取組につなげていただきたい。